

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】天草市バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km ²)
24	2008.3.31			熊本県	天草市	96,473	683.07
構想の要約		廃食用油回収区域を拡大し、公用車や農業機械、船舶等へのBDF利用を積極的に進めると共に菜の花プロジェクトを推進する。また、生ゴミ・し尿・浄化槽汚泥等を活用したメタン発酵施設の建設によりエネルギーを施設内で活用し、更に、木質・草本系の堆肥化、食品加工残さの飼料化等についても検討を進め、「安心して暮らせる宝の島づくり」を目指す。					
構想に盛り込まれた事業		① 廃食用油の利活用及び菜の花プロジェクトの推進 ② 生ゴミ及びし尿・生活排水汚泥の利活用 ③ 木質・草本系バイオマスの利活用 ④ 家畜排せつ物の利活用 ⑤ 食品加工残さの利活用					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス				
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部	○	
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○	
廃食用油	○	果樹剪定枝		
水産加工残さ	○	竹材		
製材工場等残材	○	その他()		
建設発生木材				
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○			
古紙・廃棄紙				
下水汚泥など	○			
その他()				

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	○
飼料化	○	直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他(敷料)		炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他()	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事
2010.5.11	2008.3.31バイオマスタウン構想公表(JORA協力。BTアドバイザー研修地)

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマス	賦存量	変換・処理方法	目標利活用量	目標利用率
廃棄物系バイオマス				98 %
家畜排せつ物(牛)	45,788 t	堆肥化、ペレット肥料化	45,513 t	99 %
家畜排せつ物(豚)	79,540 t	堆肥化、ペレット肥料化	78,108 t	98 %
家畜排せつ物(鶏)	2,331 t	堆肥化、ペレット肥料化	2,289 t	98 %
製材残材	153 t	おが粉敷料	153 t	100 %
剪定枝	2,817 t	堆肥化	2,263 t	80 %
水産加工残さ	3,720 t	飼料化、養殖餌	3,720 t	100 %
生ゴミ	4,157 t	飼料化、メタン発酵	2,079 t	50 %
廃食用油	103 t	バイオ燃料化	64 t	62 %
し尿	21,333 t	肥料化、メタン発酵	21,333 t	100 %
浄化槽汚泥	29,382 t	肥料化、メタン発酵	29,382 t	100 %
集落排水汚泥	1,080 t	肥料化、メタン発酵	1,080 t	100 %
下水汚泥	29,957 t	メタン発酵	29,957 t	100 %
未利用バイオマス				71 %
稲わら	7,637 t	飼料化、敷料	7,179 t	94 %
もみ殻	1,909 t	敷料、堆肥化	1,768 t	93 %
麦わら	174 t	堆肥化	139 t	80 %
規格外果実	504 t	堆肥化	404 t	80 %
林地残材	3,959 t	堆肥化	56 t	1 %

バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)



実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)